

# 山形県建設国民健康保険組合 データヘルス計画書

平成28年3月  
山形県建設国民健康保険組合

I. 保健事業計画（データヘルス計画）の策定にあたって		
1. 事業目的と背景		2
2. 基本方針		2
3. 計画の期間		3
4. 計画の見直し		3
5. データヘルス計画の公表・周知		3
6. 個人情報の保護		3
II. 現状分析と課題		
1. 保険者の特性把握		4
(1) 基本情報		4
(2) 医療費等の状況		5
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		6
① 特定健康診査		6
② 特定保健指導		7
③ 特定健診・特定保健指導年次推移		8
(4) 死因の状況		9
(5) 平成26年度 保健事業の実施状況		10

2. 医療費状況の把握	12
(1) 基礎統計	12
(2) 高額レセプトの件数及び要因	13
① 高額レセプトの件数及び割合	13
② 高額レセプトの要因となる疾病傾向	14
(3) 疾病別医療費	15
① 大分類による疾病別医療費統計	15
② 中分類による疾病別医療費統計	21
(4) 医療機関受診状況の把握	24
(5) ジェネリック医薬品の普及状況	26
3. 分析結果と課題及び対策の設定	27
(1) 分析結果	27
(2) 分析結果のまとめと健康課題等	29
4. 平成27年度～平成29年度 保健事業の目的・評価指標・実施計画	30

# I. データヘルス計画の策定にあたって

## 1. 事業目的と背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報(以下「診療報酬明細書等情報」という)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、診療報酬明細書等情報を活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととあります。それぞれの事業については、少なくとも毎年度効果の測定及び評価を行ったうえで、必要に応じて事業内容等の見直しを行うこととしています。

山形県建設国民健康保険組合においては、上記の要件に沿ってデータヘルス計画を作成し、被保険者の健康維持増進をはかります。

診療報酬明細書等情報を用いた現状分析は、データホライズン社の医療費分解技術と傷病管理システムを用いて行うものとします。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| ※医療費分解技術(特許第4312757号)  | レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料など)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出しています。 |
| ※傷病管理システム(特許第5203481号) | レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報および診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定します。              |

## 2. 基本方針

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。
3. データヘルス計画書には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載します。またこの目標を達成することの出来る効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

### 3. 計画の期間

この計画の期間は、平成27年度から平成29年度までとします。

### 4. 計画の見直し

計画の見直しは、計画最終年度の平成29年度に行いますが、実施計画の評価等により、状況に応じた見直しを行います。

### 5. データヘルス計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表し、周知を行っていきます。

### 6. 個人情報の保護

特定健康診査及び特定保健指導に関わる個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理します。

また、特定健康診査及び特定保健指導にかかわる業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとします。

## Ⅱ. 現状分析と課題

### 1. 保険者の特性把握

#### (1) 基本情報

山形県建設国民健康保険組合の平成26年度被保険者数は18,236人、平均年齢は45.0歳である。そのうち男性は10,889人、女性は7,347人です。(平成27年9月現在)

#### 被保険者比較(H26年度)

	国保被保険者(人)	国保被保険者平均年齢(歳)
<b>山形県建設国民健康保険組合</b>	<b>18,236</b>	<b>45.0</b>
県	299,565	52.6
同規模	14,352	39.7
国	32,318,324	50.3

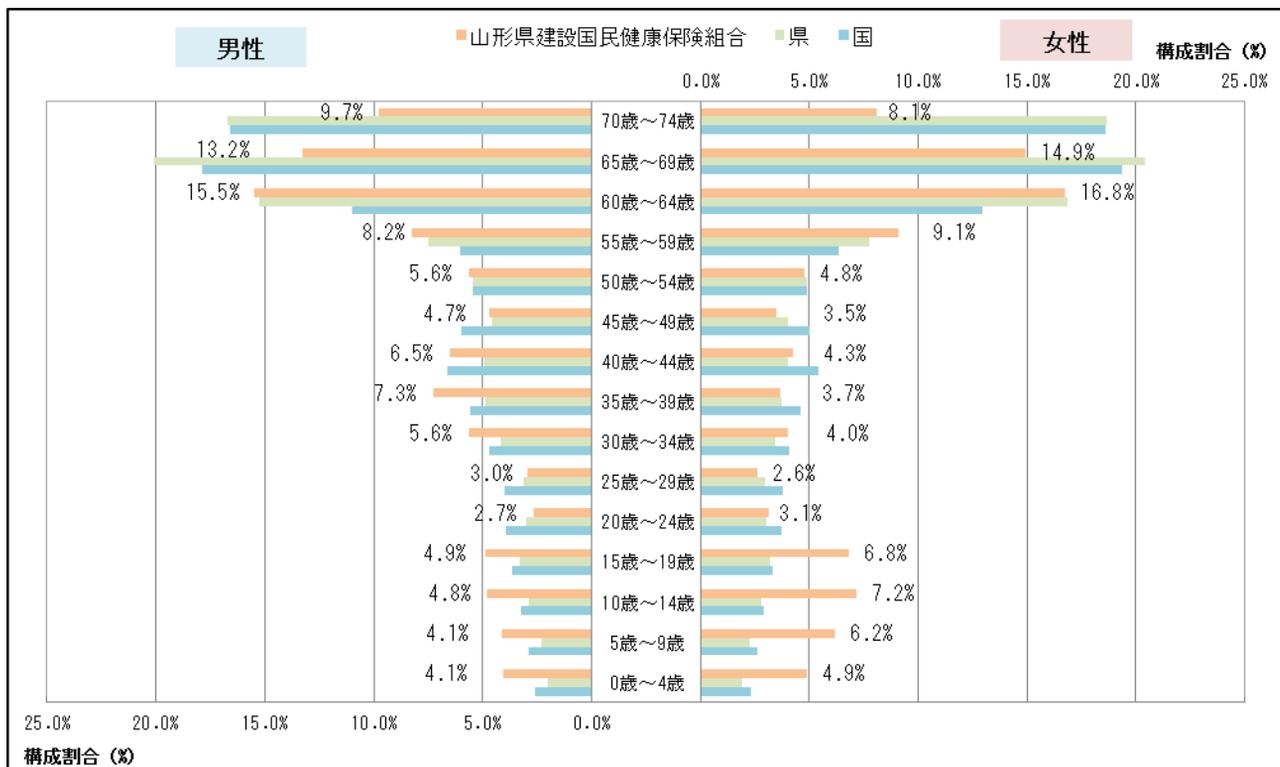
※「県」は山形県を指す。以下全ての表において同様である。

※国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

#### 男女別・年齢階層別被保険者数(H26年度)

年齢階層	男性						女性					
	山形県建設国民健康保険組合		県		国		山形県建設国民健康保険組合		県		国	
	被保険者人口(人)	割合(%)	被保険者人口(人)	割合(%)	被保険者人口(人)	割合(%)	被保険者人口(人)	割合(%)	被保険者人口(人)	割合(%)	被保険者人口(人)	割合(%)
0歳～4歳	444	4.078	3,062	2.024	408,879	2.593	358	4.873	2,870	1.936	388,510	2.348
5歳～9歳	445	4.087	3,495	2.310	454,647	2.883	454	6.179	3,390	2.286	432,218	2.612
10歳～14歳	524	4.812	4,345	2.872	506,508	3.212	528	7.187	4,118	2.777	481,433	2.909
15歳～19歳	530	4.867	4,956	3.276	576,817	3.658	500	6.805	4,747	3.201	554,171	3.349
20歳～24歳	291	2.672	4,532	2.996	618,761	3.924	231	3.144	4,467	3.013	612,498	3.701
25歳～29歳	323	2.966	4,703	3.109	627,383	3.978	194	2.641	4,395	2.964	626,473	3.786
30歳～34歳	615	5.648	6,299	4.164	743,895	4.717	296	4.029	5,118	3.452	676,531	4.088
35歳～39歳	792	7.273	7,382	4.879	880,723	5.585	269	3.661	5,553	3.745	757,842	4.580
40歳～44歳	711	6.530	7,416	4.902	1,039,763	6.593	313	4.260	5,936	4.003	894,535	5.406
45歳～49歳	514	4.720	6,891	4.555	939,133	5.955	257	3.498	5,955	4.016	828,999	5.010
50歳～54歳	614	5.639	8,207	5.425	859,244	5.448	353	4.805	7,287	4.915	813,738	4.917
55歳～59歳	898	8.247	11,296	7.466	947,825	6.010	670	9.119	11,492	7.750	1,056,659	6.385
60歳～64歳	1,685	15.474	23,057	15.240	1,734,894	11.001	1,231	16.755	24,979	16.846	2,142,409	12.947
65歳～69歳	1,442	13.243	30,400	20.094	2,818,397	17.872	1,097	14.931	30,251	20.402	3,204,302	19.364
70歳～74歳	1,061	9.744	25,249	16.689	2,613,435	16.572	596	8.112	27,717	18.693	3,077,702	18.599
合計	10,889		151,290		15,770,304		7,347		148,275		16,548,020	

#### 男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド(H26年度)



※国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」より

## (2)医療費等の状況

山形県建設国民健康保険組合の医療基礎情報を以下に示します。

医療基礎情報(H26年度)

医療項目	山形県建設 国民健康保険組合	県	同規模	国
千人当たり				
外来患者数	648.2	723.6	499.2	652.3
入院患者数	12.6	19.2	8.9	18.1
受診率	660.9	742.8	508.1	670.4
一件当たり医療費(円)	26,670	32,250	26,220	34,740
外来				
外来費用の割合	65.0%	59.7%	66.6%	59.7%
外来受診率	648.2	723.6	499.2	652.3
一件当たり医療費(円)	17,690	19,770	17,770	21,320
一人当たり医療費(円)	11,460	14,300	8,870	13,910
一日当たり医療費(円)	12,090	12,860	11,960	13,210
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	35.0%	40.3%	33.4%	40.3%
入院率	12.6	19.2	8.9	18.1
一件当たり医療費(円)	488,390	502,920	500,200	517,930
一人当たり医療費(円)	6,160	9,650	4,450	9,380
一日当たり医療費(円)	42,380	30,870	47,600	32,530
一件当たり在院日数	11.5	16.3	10.5	15.9

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

### (3)特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ①特定健康診査

山形県建設国民健康保険組合の平成26年度における、40～74歳の特定健康診査の受診率を以下に示します。

特定健康診査受診状況 (H26年度)

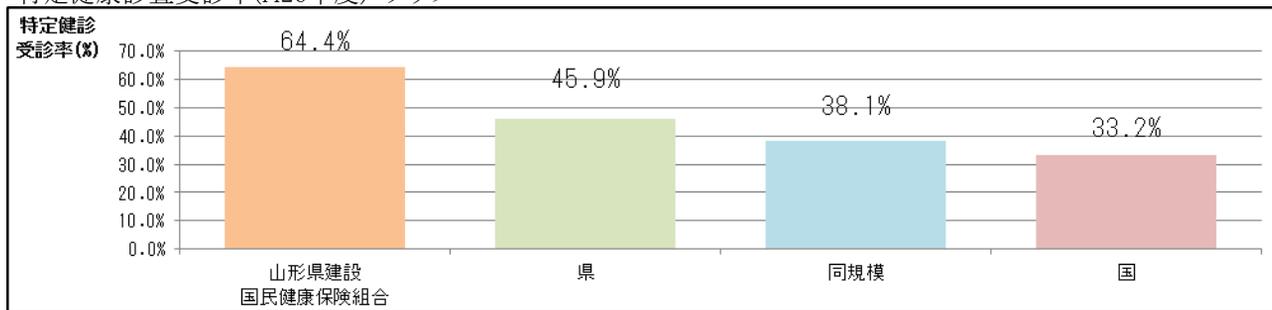
※平成27年9月現在

	特定健診受診率	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
<b>山形県建設国民健康保険組合</b>	<b>64.4%</b>	<b>7.9%</b>	<b>6.8%</b>	<b>14.7%</b>	<b>20.5%</b>
県	45.9%	7.7%	3.5%	11.2%	11.2%
同規模	38.1%	8.6%	8.9%	17.5%	1.6%
国	33.2%	8.6%	3.4%	12.0%	3.9%

※動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

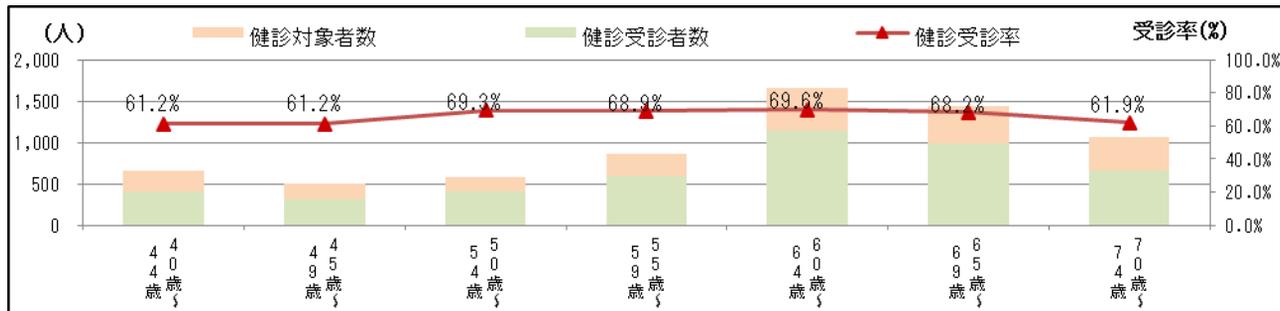
特定健康診査受診率(H26年度) グラフ



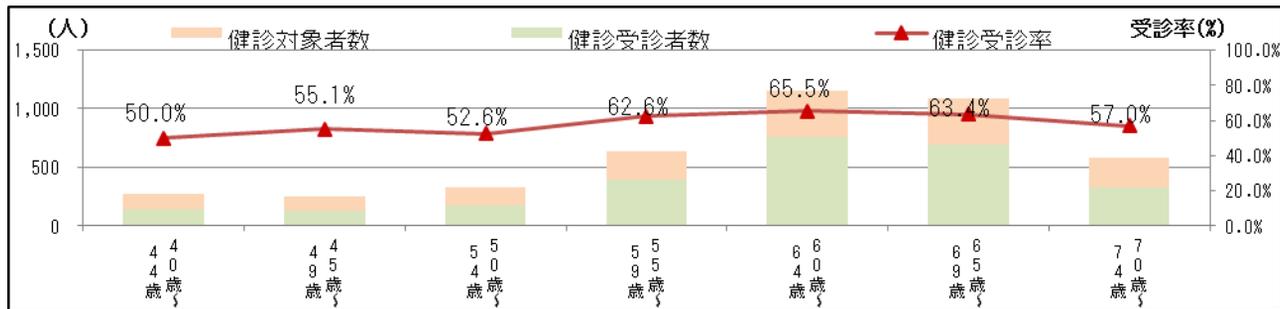
※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向にあります。

(男性)年齢別特定健康診査受診率(H26年度) グラフ



(女性)年齢別特定健康診査受診率(H26年度) グラフ

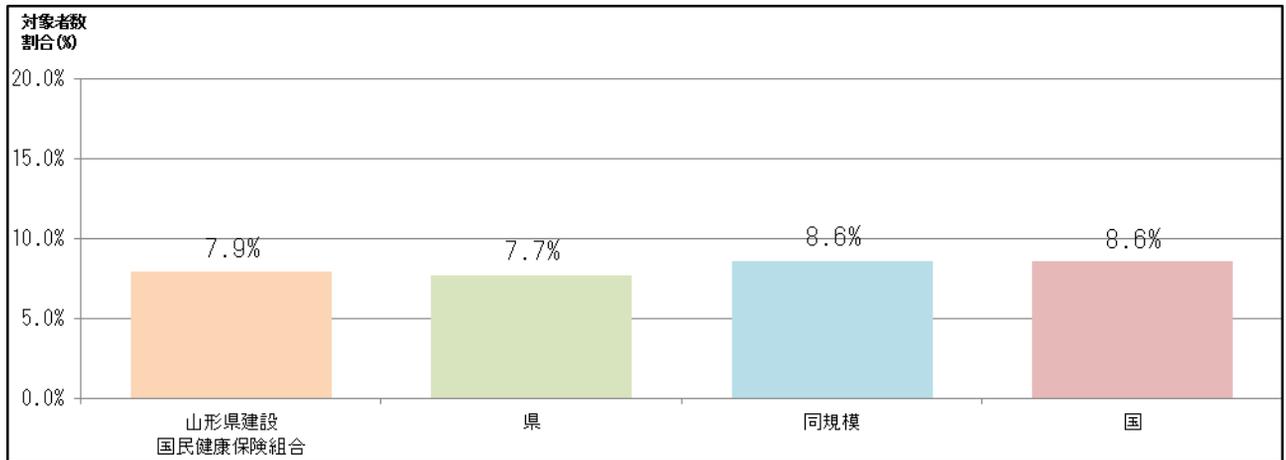


※国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

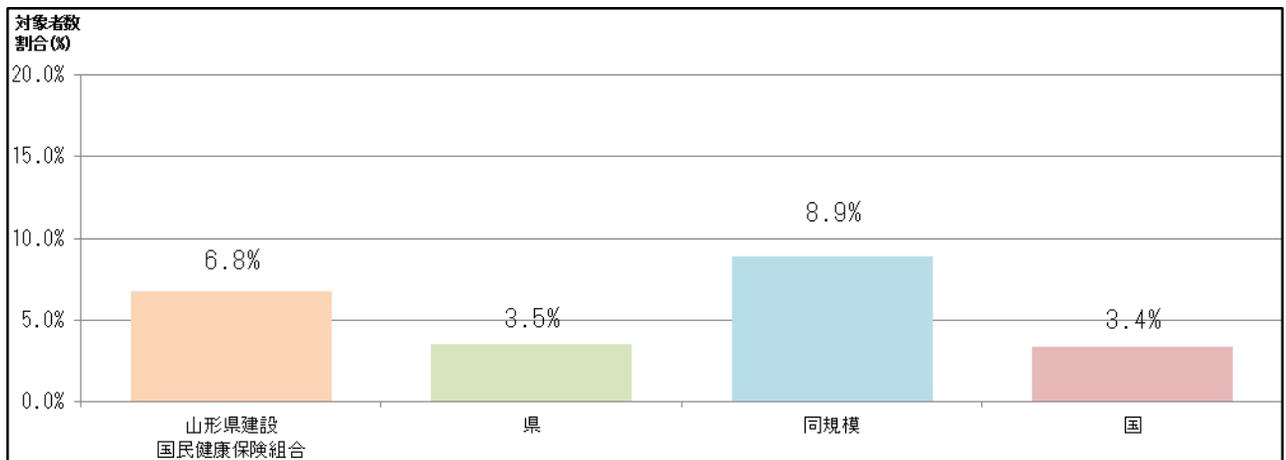
## ②特定保健指導

山形県建設国民健康保険組合の平成26年度における、特定保健指導の実施率を以下に示します。

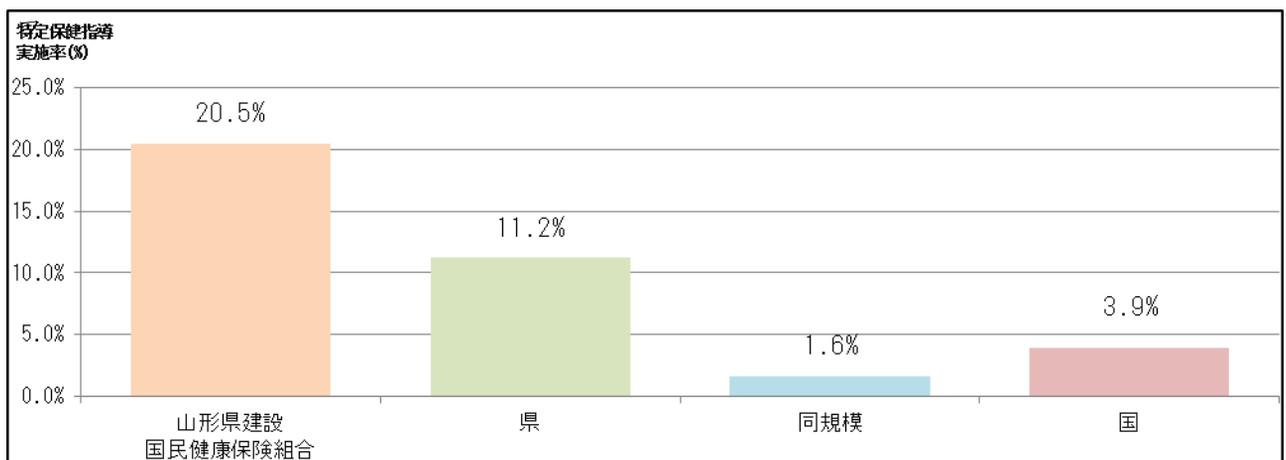
特定健診受診者に対する動機付け支援対象者数割合(H26年度) グラフ



特定健診受診者に対する積極的支援対象者数割合(H26年度) グラフ



特定健診受診者に対する特定保健指導実施率(H26年度) グラ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

③特定健診・特定保健指導の年次推移

■特定健診の年次推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対象者数	13,185人	12,864人	12,485人	12,063人	11,667人	11,379人	11,043人
受診者数	7,509人	7,472人	7,548人	7,401人	7,126人	7,061人	7,108人
受診率	57.0%	58.1%	60.5%	61.4%	61.1%	62.1%	64.4%
目標値	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%	62.0%	64.0%

■特定保健指導の年次推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①対象者	1,524人	1,341人	1,249人	1,125人	1,097人	997人	1,047人
動機付け支援	753人	675人	647人	570人	557人	511人	564人
積極的支援	771人	666人	602人	555人	540人	486人	483人
②初回面接実施者数	331人	288人	321人	149人	218人	191人	236人
動機付け支援	189人	190人	184人	156人	140人	128人	155人
積極的支援	142人	98人	137人	93人	78人	63人	81人
③終了者数	165人	316人	214人	246人	148人	170人	215人
動機付け支援	108人	216人	146人	179人	153人	117人	152人
積極的支援	57人	100人	68人	68人	51人	53人	63人
実施率(③/①)	10.8%	23.6%	17.1%	22.0%	18.6%	17.1%	20.5%
目標値	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	22.0%	24.0%

#### (4)死因の状況

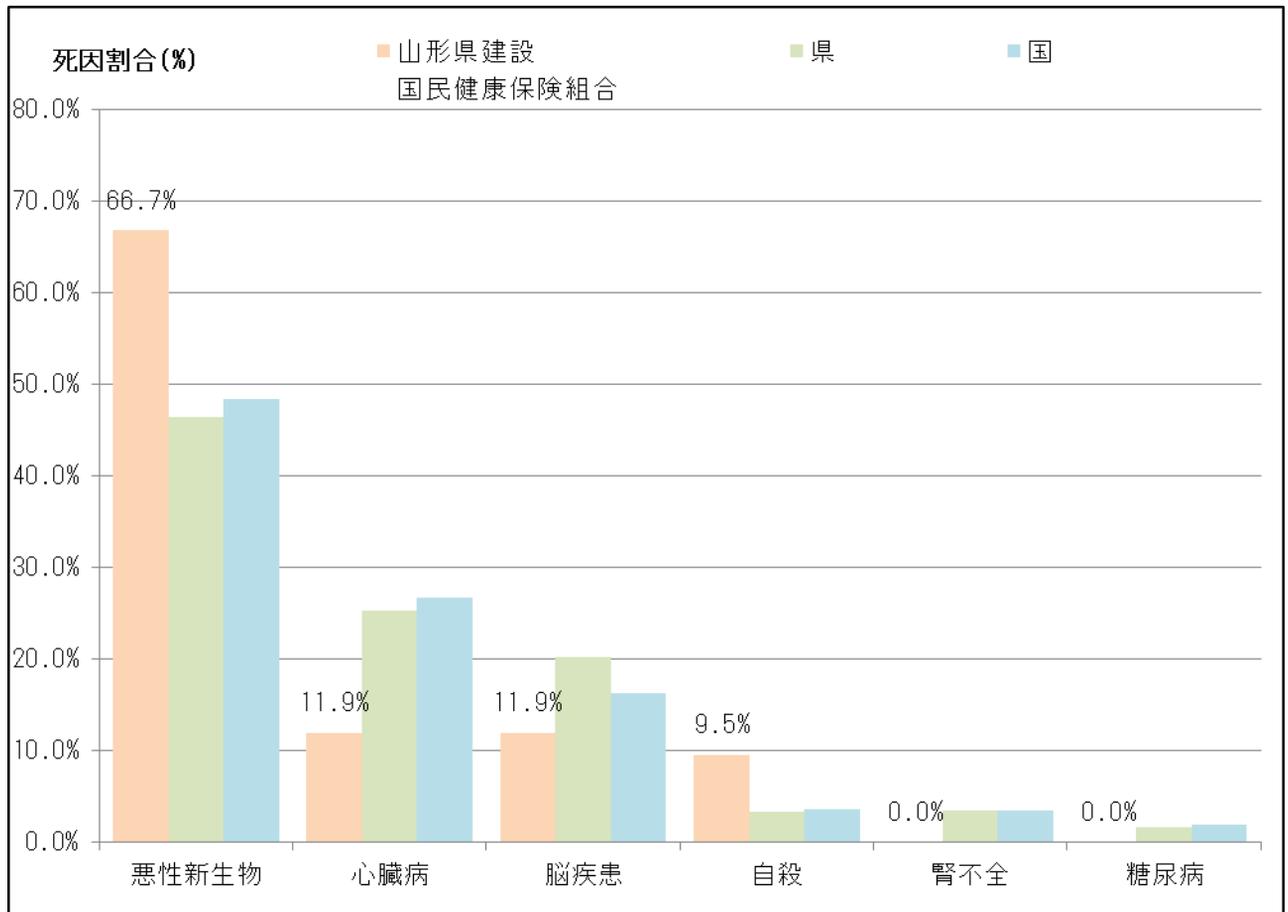
山形県建設国民健康保険組合の主たる死因とその割合を以下に示します。

主たる死因とその割合(H26年度)

疾病項目	人数(人)	山形県建設 国民健康保険組合	県	国
悪性新生物	28	66.7%	46.3%	48.3%
心臓病	5	11.9%	25.2%	26.6%
脳疾患	5	11.9%	20.2%	16.3%
自殺	4	9.5%	3.3%	3.5%
腎不全	0	0.0%	3.4%	3.4%
糖尿病	0	0.0%	1.6%	1.9%
合計	42			

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

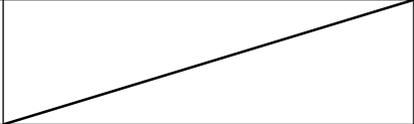
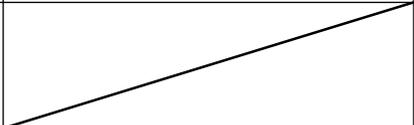
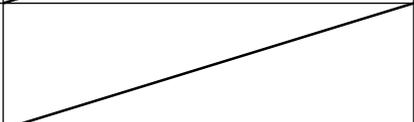
主たる死因とその割合(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

(5)平成26年度 保健事業の実施状況

事業名	目的	概要	対象
①特定健康診査	生活習慣病のリスクを高めるメタボリックシンドロームの予防と減少	・支部主催の集団健診を実施 ・個別に実施	40歳～74歳の被保険者 対象者11,043人
②特定保健指導	特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い方に対して、生活習慣の改善を促し、生活習慣病の予防を図ります。	・支部主催の集団健診実施者に対して特定保健指導を行います。 ・その他必要と思われる方	動機づけ支援又は積極的支援が必要とされた方
③がん検診補助事業	健康管理と疾病の早期発見及び早期治療	・支部主催の健診を受診された方は、特定健診と胃がん・大腸がん・肺がん健診は無料で受診できます。 ・個別に特定健診を受診した場合は、特定健診を含めがん検診は13,500円まで助成。	被保険者
④脳検診補助事業	脳疾患に対する早期発見及び早期治療	・2年度に1回のみ4万円まで助成	被保険者(加入後6ヵ月以上から対象)
⑤健康・料理教室の開催	生活習慣病予防についての意識向上	・開催支部により医師・保健師・栄養士・運動指導士等による講話や料理教室・実技指導実施。	被保険者
⑥アスベスト健診	じん肺やアスベストによる早期発見・疾病予防	・集団健診を実施された方のなかでアスベスト健診を希望する方。	被保険者でアスベスト健診を希望する方
⑦ジェネリック医薬品利用促進の通知	医療費削減、ジェネリック医薬品の認識	・ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額等を特定診療月(1・3・5・7・9・11月)の分を通知します。	医療の給付を受けた全世帯に対して
⑧医療費通知	医療保険制度に対する認識と医療費適正化についての意識向上	・医療の給付を受けた全世帯に対し、前年度1年分、特定診療月(1・3・5・7・9・11月)の医療費を個別に通知する。	医療の給付を受けた全世帯に対して
⑨インフルエンザ予防接種の助成	インフルエンザの予防及び重症化を防ぎます	・毎年度1名につき1,500円を上限に支給。小学生以下の方は毎年度1名につき1,500円を上限とし2回(延べ3,000円)まで補助金対象として支給。	被保険者(加入後6ヵ月以上から対象)
⑩健康家庭の表彰	健康に対するモチベーションが維持できます	・1年間無受診世帯へ健康賞と記念品を贈呈	被保険者
⑪私たちのこくほ健康の広場発行	情報発信	・機関紙の発行(4ページ、7回/年) 4・6・8・9・11・1・3月。	被保険者

実施状況（平成26年度実績）	成功要因	課題及び阻害要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者 7,108人、受診率64.4%</li> <li>・平成26年度の目標64%達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から特定健診が実施できるように3月末に特定健診受診券と一緒に特定健診を受診して頂けるように目的と実施医療機関等を対象者全員へ郵送または各支部へ郵送。</li> <li>・未受診者へ電話での受診勧奨。各支部での会議などでも呼びかけを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度目標70%達成するために受診率向上。</li> <li>・平成25年度と平成26年度特定健診受診されていない方に受診勧奨。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者1,047人(動機づけ支援564人、積極的支援483人)。実施者215人(動機付け支援152人、積極的支援63人)。実施率20.5%。</li> <li>・平成26年度の目標24%には及ばなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託している健診機関と協力しながら、未受診者へ電話での受診勧奨。</li> <li>・機関紙や健康教室の際に特定保健指導の必要性を説明。</li> <li>・特定健診当日に特定保健指導が実施できるよう医療機関を増やしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度目標45%達成するために受診率向上。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団健診6,867人(胃がん・大腸がん・肺がん検診)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診と一緒にがん検診を受診できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに呼びかけを強化(レセプト分析よりがんの医療費が高額。平成26年度607,106,578円。レセプト件数14,948件。患者一人当たりの医療費154,441円)。</li> <li>・件数では胃の悪性新生物が2,723件でがんの中で最も多いため、胃がん予防としてピロリ菌検査の推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数909件</li> <li>補助額18,756,024円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳検診の集団健診実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・19支部24会場</li> <li>延べ963人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病を中心に各支部で工夫を凝らした健康教室を行い組合員・家族の疾病予防と健康増進に対する認識の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当国保で医療費の件数が多い疾病や高額医療費の疾病の予防についての講演を増やしていきます。レセプトより件数では1位高血圧疾患。高額レセプト1位腎不全。2位結腸の悪性新生物3位気管・気管支及び肺の悪性新生物。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者7,424人の内4,699人がアスベスト再読影を希望。有所見者486人。男性13.9%、女性0%(全体では10.3%)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団健診と一緒にアスベスト再読影を実施しているので受診しやすい体制になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに呼びかけを強化。支部主催の集団健診を増やす。※支部の集団健診を受診された方がアスベスト健診が受診できる契約であるため。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品普及率平均61%(厚生労働省は、平成30年3月末までに、ジェネリック医薬品の数量シェアを60%以上にするという目標を掲げています)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険証交付時にジェネリック医薬品希望シールと一緒に同封し、保険証に貼れるように工夫しています。</li> <li>・対象者がジェネリック医薬品に切り替えた場合の自分自身の具体的な削減額を知ることができます。</li> <li>・機関紙(11月15日号)にジェネリック医薬品について掲載。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費通知 38,414枚。後発医薬品普及促進のため差額通知書12,692枚発送。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果測定・評価方法が不明</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数1,421件</li> <li>補助額2,126,483円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ流行の前に機関紙(11月15日号)に予防接種の助成について掲載し保険者全員へ周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間医療機関等に受診しない家庭349世帯に健康賞と記念品を贈呈。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関誌の発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続必要</li> </ul>

## 2. 医療費状況の把握

### (1)基礎統計

当医療費統計は、山形県建設国民健康保険組合における、平成26年4月～平成27年3月診療分の12カ月分の  
 医科・調剤レセプトを対象とし分析します。

被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は、以下の通りです。被保険者数は月間平均18,305人、レセプト  
 件数は月間平均19,514件、患者数は月間平均8,804人となりました。また、患者一人当たりの月間平均医療費は  
 36,723円となりました。

#### 基礎統計

		平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	
A	被保険者数（人）	18,583	18,337	18,321	18,296	18,290	18,292	18,291	
B	レセプト件数 （件）	入院外	12,337	12,002	11,608	12,083	11,335	11,626	12,014
		入院	263	233	245	225	222	211	211
		調剤	7,797	7,395	7,099	7,351	6,961	7,287	7,623
		合計	20,397	19,630	18,952	19,659	18,518	19,124	19,848
C	医療費（円）	351,809,160	335,538,210	317,498,980	330,601,760	302,580,440	310,797,600	320,125,170	
D	患者数（人） ※	9,128	8,883	8,624	8,853	8,494	8,641	8,814	
C/D	患者一人当たりの 平均医療費（円） ※	38,542	37,773	36,816	37,343	35,623	35,968	36,320	
C/A	被保険者一人当たりの 平均医療費（円）	18,932	18,298	17,330	18,070	16,543	16,991	17,502	
C/B	レセプト一件当たりの 平均医療費（円）	17,248	17,093	16,753	16,817	16,340	16,252	16,129	

		平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数（人）	18,291	18,291	18,254	18,222	18,186	18,305		
B	レセプト件数 （件）	入院外	11,498	12,300	12,054	11,234	12,569	11,888	142,660
		入院	218	215	224	223	228	227	2,718
		調剤	7,156	7,819	7,530	7,032	7,743	7,399	88,793
		合計	18,872	20,334	19,808	18,489	20,540	19,514	234,171
C	医療費（円）	294,547,760	330,721,990	331,005,910	299,291,800	355,171,190	323,307,498	3,879,689,970	
D	患者数（人） ※	8,579	9,044	9,005	8,486	9,097	8,804	105,648	
C/D	患者一人当たりの 平均医療費（円） ※	34,334	36,568	36,758	35,269	39,043	36,723		
C/A	被保険者一人当たりの 平均医療費（円）	16,103	18,081	18,133	16,425	19,530	17,663		
C/B	レセプト一件当たりの 平均医療費（円）	15,608	16,264	16,711	16,188	17,292	16,568		

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

## (2)高額レセプトの件数及び要因

### ①高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。  
 高額レセプトは、月間平均85件発生しており、レセプト件数全体の0.4%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均8,322万円程度となり、医療費全体の25.7%を占めます。

#### 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月
A	レセプト件数全体 (件)	20,397	19,630	18,952	19,659	18,518	19,124	19,848
B	高額(5万点以上)レセプト件数 (件)	104	80	87	81	78	84	82
B/A	件数構成比 (%)	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
C	医療費全体 (円) ※	351,809,160	335,538,210	317,498,980	330,601,760	302,580,440	310,797,600	320,125,170
D	高額(5万点以上)レセプトの医療費 (円)	95,873,690	91,607,230	79,282,590	84,838,810	76,782,610	81,678,440	76,456,750
D/C	金額構成比 (%)	27.3%	27.3%	25.0%	25.7%	25.4%	26.3%	23.9%

		平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数全体 (件)	18,872	20,334	19,808	18,489	20,540	19,514	234,171
B	高額(5万点以上)レセプト件数 (件)	69	84	89	80	106	85	1,024
B/A	件数構成比 (%)	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	
C	医療費全体 (円) ※	294,547,760	330,721,990	331,005,910	299,291,800	355,171,190	323,307,498	3,879,689,970
D	高額(5万点以上)レセプトの医療費 (円)	65,707,510	82,131,720	84,864,640	73,069,590	106,405,630	83,224,934	998,699,210
D/C	金額構成比 (%)	22.3%	24.8%	25.6%	24.4%	30.0%	25.7%	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプトの要因となる疾病傾向

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし集計した。医療費分解後、患者毎に最も医療費がかかっている疾病を特定し、患者一人当たりの医療費が高い順に上位の疾病項目を以下に示す。要因となる疾病は、「腎不全」「結腸の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「悪性リンパ腫」「その他の神経系の疾患」等であります。

高額(5万点以上)レセプトの要因となる疾病

中分類名	主要傷病名	患者数 (人)	医療費 (円)			患者 一人当たりの 医療費 (円)
			入院	入院外	合計	
腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	13	24,512,560	48,549,730	73,062,290	5,620,176
結腸の悪性新生物	S状結腸癌, 下行結腸癌, 上行結腸癌	18	43,116,180	24,950,500	68,066,680	3,781,482
気管, 気管支及び肺の悪性新生物	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺癌	22	58,263,940	16,639,330	74,903,270	3,404,694
悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード3a, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	11	21,907,080	14,390,500	36,297,580	3,299,780
その他の神経系の疾患	顔面痙攣, 頸髄症, ギラン・バレー症候群	15	38,346,670	3,136,330	41,483,000	2,765,533
その他の悪性新生物	前立腺癌, 甲状腺癌, 膵頭部癌	53	108,836,570	37,015,230	145,851,800	2,751,921
乳房の悪性新生物	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 進行乳癌	13	11,441,320	23,268,000	34,709,320	2,669,948
胃の悪性新生物	胃癌, 胃体部癌, 幽門前庭部癌	31	60,612,710	20,019,090	80,631,800	2,601,026
その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 発作性上室頻拍	28	53,259,100	16,911,650	70,170,750	2,506,098
関節症	両側性原発性膝関節症, 変形性膝関節症, 一側性原発性膝関節症	24	46,224,400	9,986,930	56,211,330	2,342,139

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

### (3)疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

##### (i)山形県建設国民健康保険組合全体

以下の通り、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の17.1%を占めています。「新生物」は医療費合計の15.7%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は医療費合計の9.9%と高い割合を占めています。次いで「内分泌、栄養及び代謝疾患」も医療費合計の9.8%を占め、高い水準となっています。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	114,420,130	3.0%	12	20,250	9	5,400	7	21,189	16
II. 新生物	607,106,578	15.7%	2	14,948	11	3,931	10	154,441	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	22,655,461	0.6%	16	4,390	16	1,113	16	20,355	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	378,893,921	9.8%	4	62,284	2	6,013	5	63,012	7
V. 精神及び行動の障害	148,197,094	3.8%	11	13,011	13	1,286	15	115,239	3
VI. 神経系の疾患	155,654,654	4.0%	9	24,947	6	2,667	12	58,363	9
VII. 眼及び付属器の疾患	150,138,404	3.9%	10	22,765	8	5,548	6	27,062	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	30,046,038	0.8%	15	6,159	15	1,747	14	17,199	19
IX. 循環器系の疾患	661,528,397	17.1%	1	79,589	1	6,236	3	106,082	4
X. 呼吸器系の疾患	329,813,670	8.5%	5	53,607	4	9,681	1	34,068	13
X I. 消化器系の疾患 ※	302,661,533	7.8%	6	53,931	3	7,514	2	40,280	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	97,011,463	2.5%	13	24,286	7	5,306	8	18,283	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	383,846,837	9.9%	3	45,543	5	6,107	4	62,854	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	199,473,770	5.2%	7	13,711	12	2,567	13	77,707	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	14,235,183	0.4%	18	360	20	150	19	94,901	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	10,954,524	0.3%	19	120	21	54	21	202,862	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	16,543,007	0.4%	17	1,931	18	462	18	35,807	12
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	59,397,623	1.5%	14	16,772	10	4,199	9	14,146	21
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	168,265,282	4.4%	8	10,555	14	3,585	11	46,936	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,481,751	0.2%	20	4,292	17	589	17	14,400	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,615,610	0.1%	21	381	19	131	20	27,600	14
合計	3,862,940,930	100.0%		232,077		16,417		235,301	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性があります。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

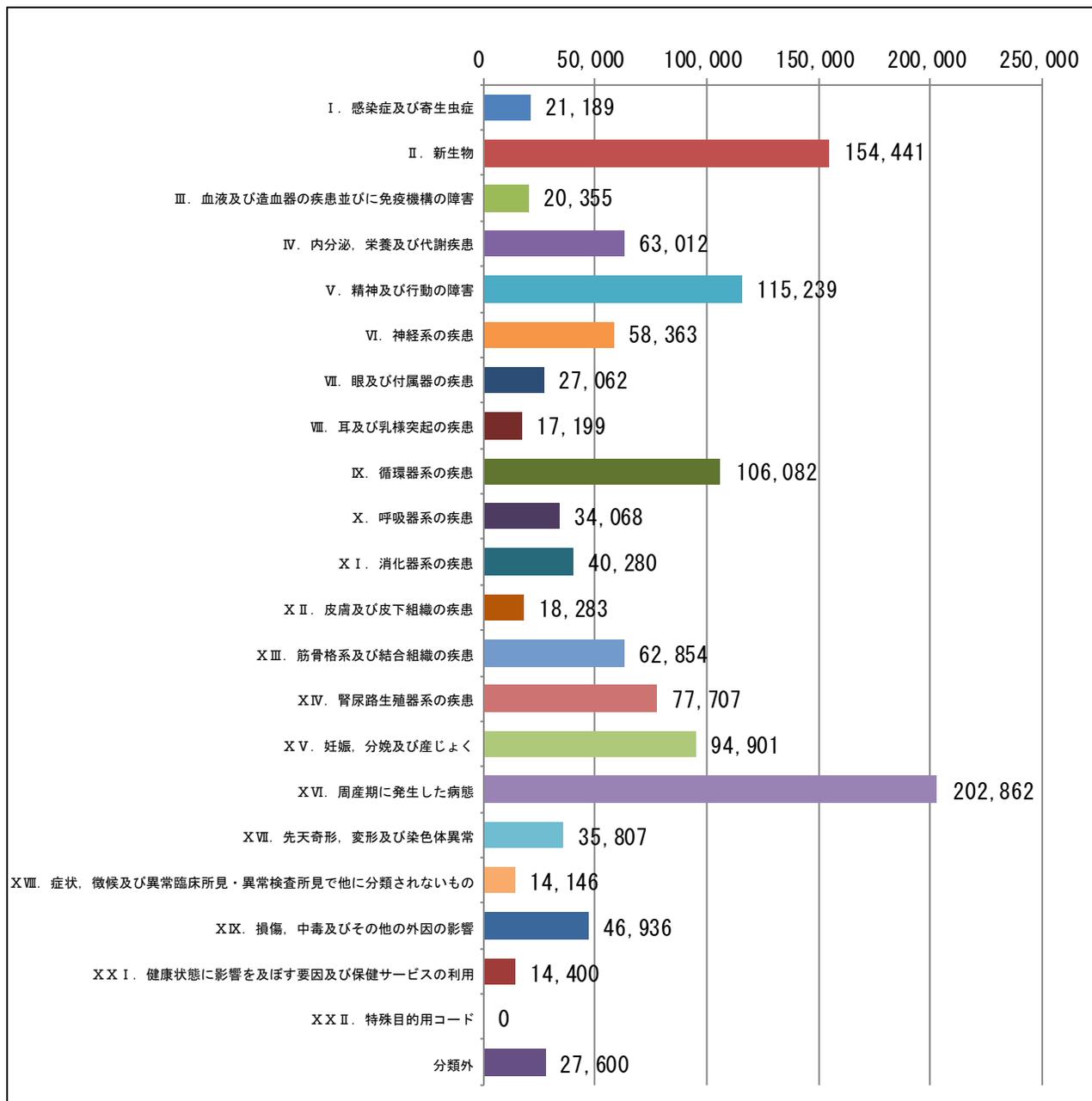
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費は、「周産期に発生した病態」「新生物」「精神及び行動の障害」が高い。次いで、「循環器系の疾患」「妊娠、分娩及び産じょく」「腎尿路生殖器系の疾患」の順となります。

患者一人当たりの医療費

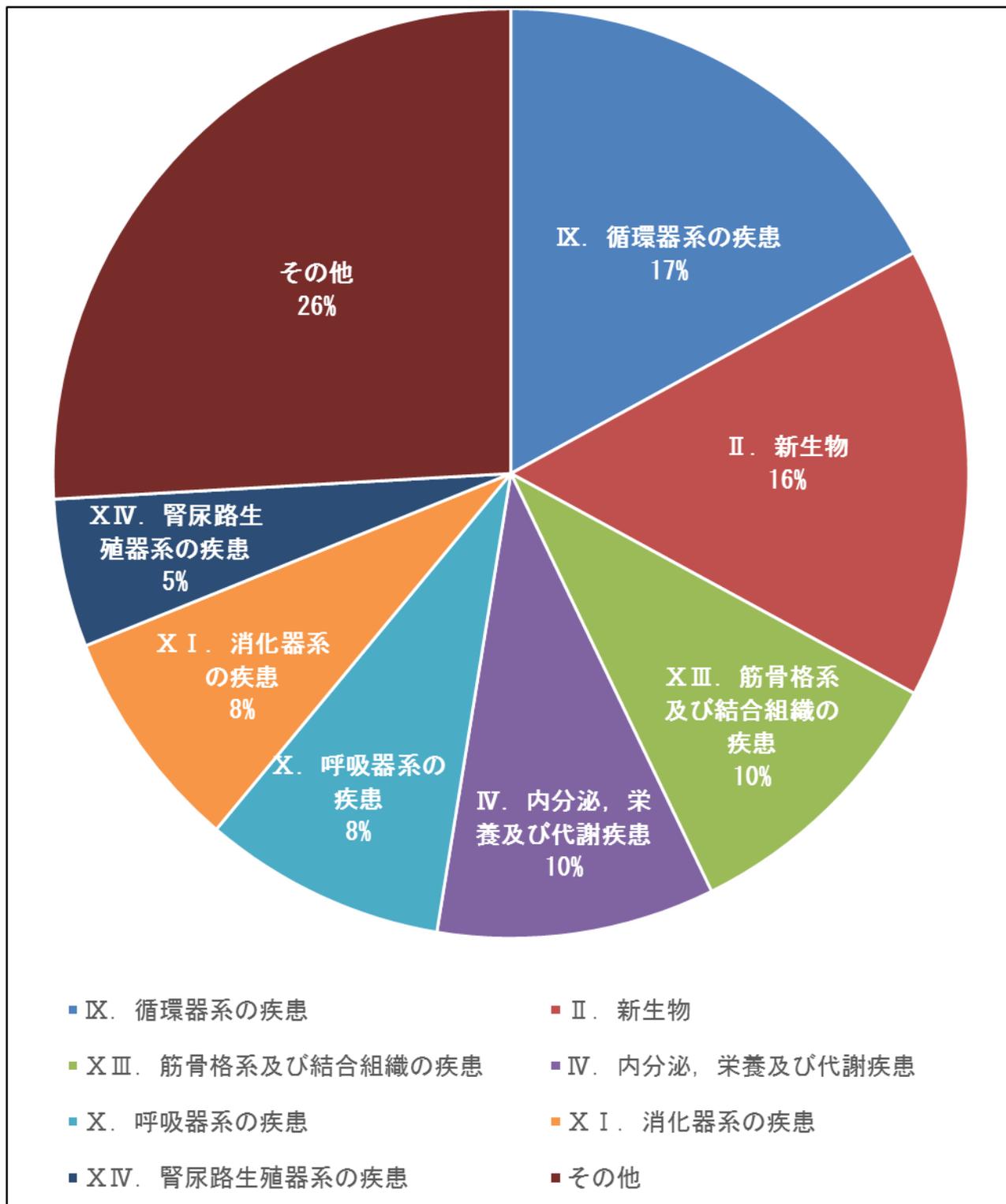
単位：円



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

疾病項目別の医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「呼吸器系の疾患」の医療費で過半数を占めます。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。  
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

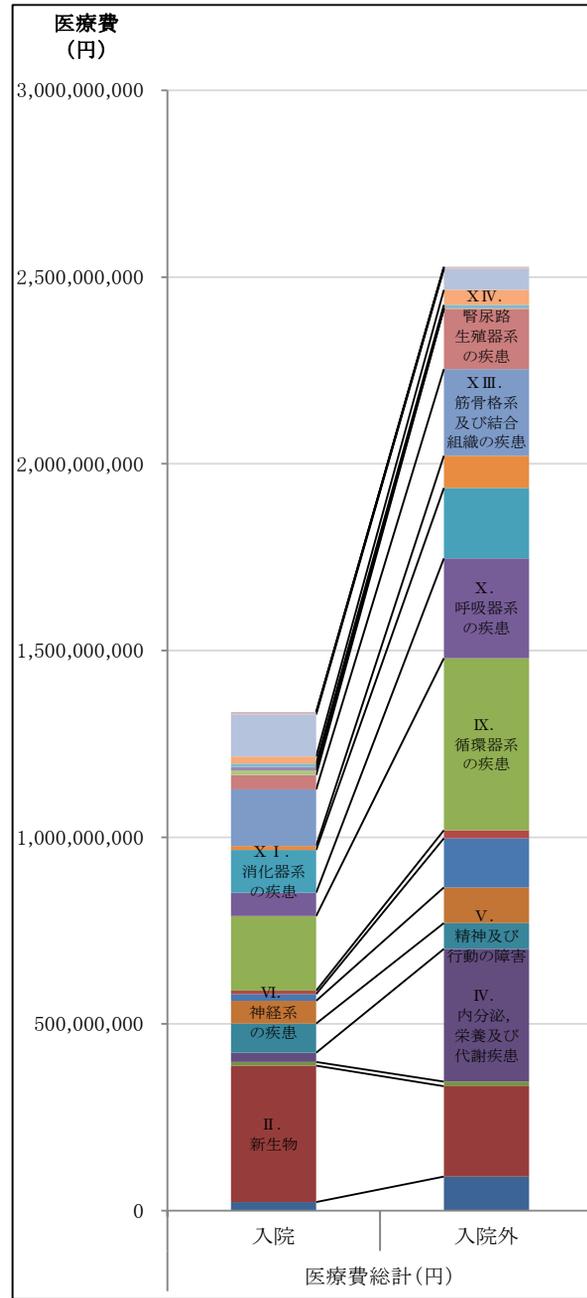
(ii)入院・入院外比較

山形県建設国民健康保険組合における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示します。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示します。

疾病項目(大分類)	医療費総計(円) ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	23,288,360	91,131,770
II. 新生物	364,745,911	242,360,667
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,299,436	12,356,025
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	24,152,100	354,741,821
V. 精神及び行動の障害	78,529,010	69,668,084
VI. 神経系の疾患	60,584,601	95,070,053
VII. 眼及び付属器の疾患	18,256,463	131,881,941
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	8,870,302	21,175,736
IX. 循環器系の疾患	200,135,354	461,393,043
X. 呼吸器系の疾患	62,686,763	267,126,907
X I. 消化器系の疾患 ※	114,572,103	188,089,430
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,197,439	86,814,024
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	151,981,160	231,865,677
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	38,149,763	161,324,007
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	12,358,732	1,876,451
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,501,620	1,452,904
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,219,896	7,323,111
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,999,460	40,398,163
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	112,222,261	56,043,021
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,536,073	3,945,678
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	2,117,433	1,498,177
合計	1,335,404,240	2,527,536,690



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

データホライズン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性があります。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。

そのため他統計と一致しません。

(iii)男性・女性比較

山形県建設国民健康保険組合における、疾病別医療費を男女別に示します。

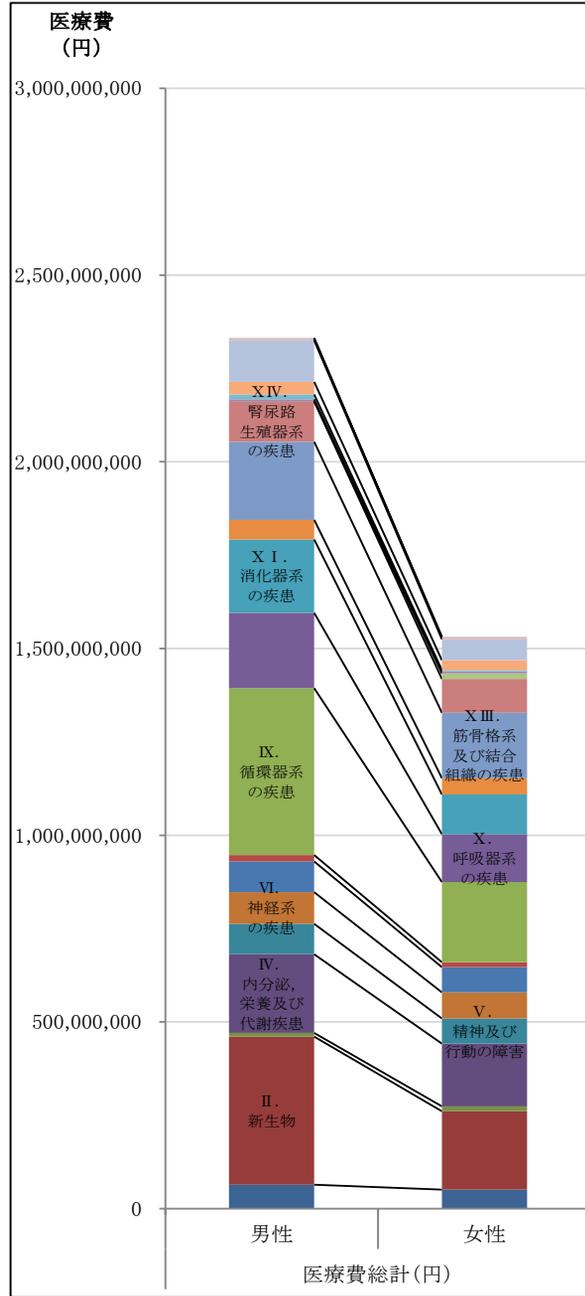
大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示します。

疾病項目(大分類)	医療費総計(円) ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	63,738,371	50,681,759
II. 新生物	397,231,835	209,874,743
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,202,864	13,452,597
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	210,855,077	168,038,844
V. 精神及び行動の障害	81,287,285	66,909,809
VI. 神経系の疾患	85,379,298	70,275,356
VII. 眼及び付属器の疾患	82,388,122	67,750,282
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	17,188,410	12,857,628
IX. 循環器系の疾患	446,553,372	214,975,025
X. 呼吸器系の疾患	201,888,474	127,925,196
X I. 消化器系の疾患 ※	196,527,760	106,133,773
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	52,968,889	44,042,574
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	208,607,204	175,239,633
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	108,734,568	90,739,202
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,555	14,228,628
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,900,994	6,053,530
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	13,478,601	3,064,406
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,283,066	26,114,557
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	111,553,274	56,712,008
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,281,423	4,200,328
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	1,965,108	1,650,502
合計	2,332,020,550	1,530,920,380



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

データホライズン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

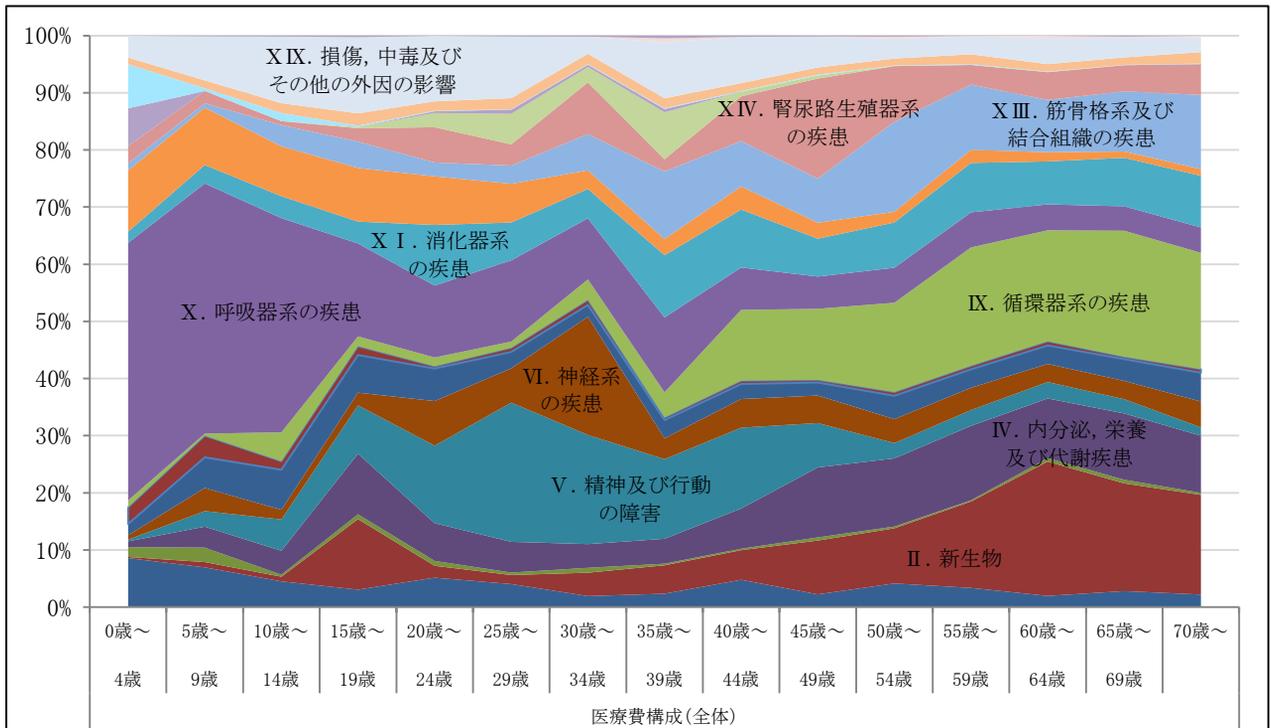
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性があります。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

## 年齢階層別医療費構成(全体)



- 分類外
- XX II. 特殊目的用コード
- XX I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠、分娩及び産後
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。  
 データホライズン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

## ②中分類による疾病別医療費統計

(i)山形県建設国民健康保険組合全体

疾病中分類毎に集計し、医療費の上位10疾病を示します。

### a.中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	314,766,785	8.1%	4,778
2	0402	糖尿病	195,009,154	5.0%	3,112
3	0210	その他の悪性新生物	184,173,503	4.8%	1,215
4	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	167,277,139	4.3%	4,567
5	1112	その他の消化器系の疾患	155,663,387	4.0%	4,170
6	0903	その他の心疾患	125,950,179	3.3%	1,585
7	1402	腎不全	113,108,814	2.9%	137
8	0606	その他の神経系の疾患	103,367,440	2.7%	2,396
9	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	92,799,864	2.4%	1,622
10	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	88,121,279	2.3%	2,911

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

データホライズン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

## ②中分類による疾病別医療費統計

(i)山形県建設国民健康保険組合全体

疾病中分類毎に集計し、患者数の上位10疾病を示します。

### b.中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人)※
1	1003	その他の急性上気道感染症	44,699,652	32.9%	5,405
2	0901	高血圧性疾患	314,766,785	29.1%	4,778
3	1105	胃炎及び十二指腸炎	57,254,064	28.1%	4,619
4	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	167,277,139	27.8%	4,567
5	0703	屈折及び調節の障害	23,561,214	25.7%	4,212
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	59,397,623	25.6%	4,199
7	1112	その他の消化器系の疾患	155,663,387	25.4%	4,170
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	33,699,688	24.8%	4,072
9	1202	皮膚炎及び湿疹	50,526,369	24.4%	4,004
10	1006	アレルギー性鼻炎	44,997,316	22.8%	3,748

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

データホライズン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

## ②中分類による疾病別医療費統計

(i)山形県建設国民健康保険組合全体

疾病中分類毎に集計し患者一人当たりの医療費の上位10疾病を示します。

### c.中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人)	患者一人当たり の医療費(円)
1	1402	腎不全	113,108,814	137	825,612
2	0209	白血病	13,557,979	19	713,578
3	0208	悪性リンパ腫	34,678,592	57	608,396
4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	27,625,183	63	438,495
5	0501	血管性及び詳細不明の認知症	5,958,944	17	350,526
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	51,036,972	166	307,452
7	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,262,179	29	284,903
8	0206	乳房の悪性新生物	41,334,830	181	228,369
9	0601	パーキンソン病	13,633,767	60	227,229
10	1701	心臓の先天奇形	9,348,269	45	207,739

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12ヵ月分)。

※患者一人当たりの医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

#### (4)医療機関受診状況の把握

医療機関への過度な受診の可能性がある、重複、頻回受診者数を以下に示します。また、同一薬効の医薬品を重複して処方されている重複服薬者数、併用禁忌とされる医薬品を処方されている薬剤併用禁忌対象者数を以下に示します。

##### 重複受診者数

	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月
重複受診者数（人）	8	10	8	11	4	7	9	12	8	6	3	9
12カ月間の延べ人数											95	
12カ月間の実人数											86	

順位	病名	分類	割合（％）
1	急性気管支炎	呼吸器系の疾患	13.9%
2	高血圧症	循環器系の疾患	5.7%
3	アレルギー性鼻炎	呼吸器系の疾患	5.4%
4	気管支喘息	呼吸器系の疾患	3.6%
5	不眠症	神経系の疾患	3.6%

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

データホライズン社特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とします。

##### 頻回受診者数

	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月
頻回受診者数（人）	39	39	40	29	26	31	41	27	35	35	38	46
12カ月間の延べ人数											426	
12カ月間の実人数											183	

順位	病名	分類	割合（％）
1	高血圧症	循環器系の疾患	13.7%
2	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.1%
3	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.3%
4	高コレステロール血症	内分泌、栄養及び代謝疾患	3.2%
5	腰部脊柱管狭窄症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.2%

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とします。

## 重複服薬者数

	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月
重複服薬者数（人）	7	32	36	40	32	34	32	36	41	28	24	30
12カ月間の延べ人数											372	
12カ月間の実人数											194	

順位	薬品名	効能	割合(%)
1	デパス細粒1%	精神神経用剤	12.4%
2	ノルバスク錠2.5mg	血管拡張剤	8.5%
3	プルゼニド錠12mg	下剤, 浣腸剤	3.7%
4	マイスリー錠5mg	催眠鎮静剤, 抗不安剤	3.6%
5	オパルモン錠5 $\mu$ g	その他の血液・体液用薬	2.5%

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

## 薬剤併用禁忌対象者数

	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月
薬剤併用禁忌対象者数（人）※	47	39	25	26	27	48	65	56	67	76	56	48
12カ月間の延べ人数											580	
12カ月間の実人数											425	

## 主な禁忌例

(A) 剤型名	(A) 医薬品コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品コード	(B) 医薬品名	件数
内服	620002023	カロナル錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	63
内服	620000033	カロナル錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	53
外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622148701	ツロブテロールテープ2mg「ファイザー」	36
内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620008165	リスベリドン内用液1mg/mL「タカタ」0.1%	33
内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	30

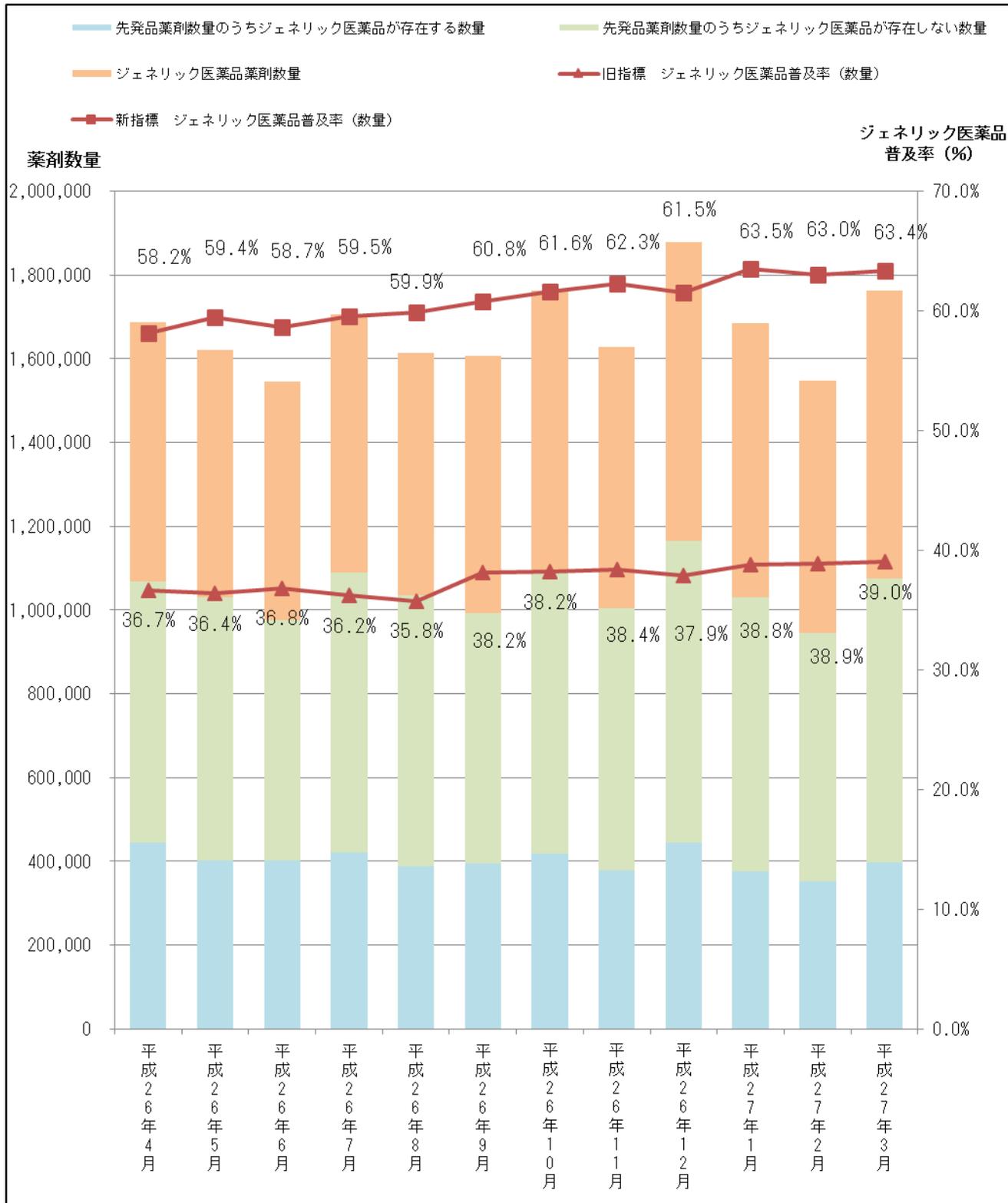
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とします。

## (5)ジェネリック医薬品の普及状況

ジェネリック医薬品の普及状況を以下に示します。

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)。

### 3. 分析結果と課題及び対策の設定

#### (1)分析結果

##### ①疾病大分類別

	医療費総計が高い疾病	患者数の多い疾病	患者一人当たりの医療費が高額な疾病
1位	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患	周産期に発生した病態
2位	新生物	消化器系の疾患	新生物
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	循環器系の疾患	精神及び行動の障害

##### ②疾病中分類別

	医療費総計が高い疾病	患者数の多い疾病	患者一人当たりの医療費が高額な疾病
1位	高血圧性疾患	その他の急性上気道感染症	腎不全
2位	糖尿病	高血圧性疾患	白血病
3位	その他の悪性新生物	胃炎及び十二指腸炎	悪性リンパ腫

##### ③入院・入院外別

入院 医療費 割合	34.6%	入院における医療費総計が高い疾病（大分類）	
		1位	新生物
		2位	循環器系の疾患
		3位	筋骨格系及び結合組織の疾患
入院外 医療費 割合	65.4%	入院外における医療費総計が高い疾病（大分類）	
		1位	循環器系の疾患
		2位	内分泌、栄養及び代謝疾患
		3位	呼吸器系の疾患

④年齢階層別医療費

医療費総計が高い年齢階層		医療費総計が高い疾病（大分類）	
1位	65歳～69歳	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	内分泌，栄養及び代謝疾患
2位	70歳～	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	筋骨格系及び結合組織の疾患
3位	60歳～64歳	1位	新生物
		2位	循環器系の疾患
		3位	内分泌，栄養及び代謝疾患

⑤高額(5万点以上)レセプトの件数と割合

高額レセプト件数	85件 (月間平均)	高額レセプトの要因となる疾病 一人当たりの医療費が高額な疾病（中分類）	
高額レセプト件数割合	0.4%	1位	腎不全
高額レセプト医療費割合	25.7%	2位	結腸の悪性新生物
		3位	気管，気管支及び肺の悪性新生物
		4位	悪性リンパ腫
		5位	その他の神経系の疾患
		6位	その他の悪性新生物

⑥医療機関受診状況

重複受診者	86人
頻回受診者	183人
重複服薬者	194人
薬剤併用禁忌対象者	425人

※平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分) 期間中の実人数

⑦ジェネリック医薬品普及率

数量ベースのジェネリック医薬品普及率(新指標)は平成27年3月時点で63.4%です。

平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月
58.2%	59.4%	58.7%	59.5%	59.9%	60.8%
平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月
61.6%	62.3%	61.5%	63.5%	63.0%	63.4%

## (2) 分析結果のまとめと健康課題等

分析結果から明らかになった健康課題は、以下のとおりである。

### **課題：高血圧性疾患による医療費が高い**

	概要
①	高血圧性疾患を含む「循環器系の疾患」にかかる医療費は、年間約6億6,152万円であり、構成比17.1%と全疾患の中でもその割合が最も高い。また、患者一人当たりの医療費も106,082円と高額になっている。
②	60歳以上では、「循環器系の疾患」にかかる医療費総計が最も高い割合を占めている。
③	「高血圧性疾患」の患者数4,778人で、構成比も29.1%と2番目に高い。高血圧性疾患を経て脳梗塞や脳出血といった重大な合併症につながる恐れがある。

### **課題：糖尿病による医療費が高い**

	概要
①	糖尿病を含む「内分泌、栄養及び代謝疾患」にかかる医療費は、年間約3億7,893万円であり、構成比9.8%と全疾患の中で4番目に高い割合を占めている。
②	糖尿病を含む「内分泌、栄養及び代謝疾患」のレセプト件数は62,284件と全疾病の中で2位と高くなっている。
③	透析に至る起因として「Ⅱ型糖尿病」が75.0%を占めている。

### **その他**

- ・ 特定健診を受診した際、異常値が見つかったがその後、適切な治療や病院を受診していない方が、709名いた。この方たちの発症を予防するために受診勧奨を行う。
- ・ 医療機関への過度な受診の可能性があり、重複・頻回受診者が多数存在する。

#### 4. 平成27年度～平成29年度 保健事業の目的・評価指標・実施計画

前頁までの分析結果を踏まえ、27年～29年度において以下のような、保健事業を実施する。

事業名	目的	概要	対象
①特定健康診査	生活習慣病のリスクを高めるメタボリックシンドロームの予防と減少	・支部主催の集団健診を実施 ・個別に実施	40歳～74歳の被保険者 対象者11,043人
②特定保健指導	特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い方に対して、生活習慣の改善を促し、生活習慣病の予防を図ります。	・支部主催の集団健診実施者に対して特定保健指導を行います。 ・その他必要と思われる方	動機づけ支援又は積極的支援が必要とされた方
③がん検診補助事業	健康管理と疾病の早期発見及び早期治療	・支部主催の健診を受診された方は、特定健診と胃がん・大腸がん・肺がん健診は無料で受診できます。 ・個別に特定健診を受診した場合は、特定健診を含めがん検診は13,500円まで助成。	被保険者
④脳検診補助事業	脳疾患に対する早期発見及び早期治療	・2年度に1回のみ4万円まで助成	被保険者(加入後6ヵ月以上から対象)
⑤健康・料理教室の開催	生活習慣病予防についての意識向上	・開催支部により医師・保健師・栄養士・運動指導士等による講話や料理教室・実技指導実施。	被保険者
⑥アスベスト健診	じん肺やアスベストによる早期発見・疾病予防	・集団健診を実施された方のなかでアスベスト健診を希望する方。	被保険者でアスベスト健診を希望する方
⑦ジェネリック医薬品利用促進の通知	医療費削減、ジェネリック医薬品の認識	・ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額等を特定診療月(1・3・5・7・9・11月)の分を通知する。	医療の給付を受けた全世帯に対して
⑧医療費通知	医療保険制度に対する認識と医療費適正化についての意識向上	・医療の給付を受けた全世帯に対し、前年度1年分、特定診療月(1・3・5・7・9・11月)の医療費を個別に通知します。	医療の給付を受けた全世帯に対して
⑨インフルエンザ予防接種の助成	インフルエンザの予防及び重症化を防ぐ	・毎年度1名につき1,500円を上限に支給。小学生以下の方は毎年度1名につき1,500円を上限とし2回(延べ3,000円)まで補助金対象として支給。	被保険者(加入後6ヵ月以上から対象)

アウトプット(実施目標)	アウトカム(達成目標)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診対象者へ受診券発送時に受診しやすいように健診・医療機関一覧表を送付します。</li> <li>・未受診者へハガキや電話での受診勧奨を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診率70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導対象者の指導実施率10%向上</li> <li>・指導対象者の生活習慣改善率50%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導率30%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みの向上</li> <li>平成26年 集団健診6,867人(胃がん・大腸がん・肺がん検診)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診者の向上(7,000人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みの向上</li> <li>平成26年 件数909件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳検診受診者の向上(件数1,000件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加率の向上</li> <li>平成26年 963人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加率の向上を目指します(1,000人参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診率の向上</li> <li>平成26年 アスベスト健診63.2%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスベスト健診受診率65%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への通知率100%(平成27年3月時点で63.4%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品普及率65%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みの向上</li> <li>平成26年 1,421件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数の向上(約1,500件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>

事業名	目的	概要	対象
⑩健康家庭の表彰	健康に対するモチベーションが維持できます	・1年間無受診世帯へ健康賞と記念品を贈呈	被保険者
⑪私たちのこくほ健康の広場発行	情報発信	・機関紙の発行(4ページ、7回/年) 4・6・8・9・11・1・3月。	被保険者

平成28年度 追加事業

事業名	目的	概要	対象
⑫健診異常値放置者受診勧奨通知	疾病の重症化を防ぐため、適切な健康管理と疾病の早期発見及び早期治療	・国保連合会のKDBシステムより対象者リスト作成し、健診3～4ヶ月後に医療機関受診していない方へ手紙を発送します。 ・特定健診受診者で、血圧・コレステロール・中性脂肪・血糖の数値が医療機関受診対象者。	40歳～74歳の被保険者で対象となった方
⑬重複・頻回受診者	医療費の適正化	・平成26年度の重複・頻回受診者のリストより、保健指導効果が最もある方を絞る。そして平成27年度もレセプトでの確認で対象となった方へ手紙を発送。その後電話指導を行います。	被保険者
⑭糖尿病重症化予防	糖尿病重症化を防ぐために、適切な健康管理を行います。	・平成26年度レセプトデータの結果より対象者を選定。平成27年度もレセプトで確認し対象者となった方へ手紙での支援を行う。必要時電話指導を行います。	被保険者

アウトプット(実施目標)	アウトカム(達成目標)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		・継続	・継続	・継続
・機関紙の発行(4ページ、7回/年) 4・6・8・9・11・1・3月。	・機関紙の発行(4ページ、7回/年) 4・6・8・9・11・1・3月。	・継続	・継続	・継続

平成28年度 追加事業

アウトプット(実施目標)	アウトカム(達成目標)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・対象者へ通知する。	・通知後、医療機関への受診を促す。		・新規	・継続
・対象者へ通知する。	・受診行動適正化率目標50%		・新規	・継続
・80人へ通知する。(年2回)	・継続受診しているかを確認する。		・新規	・継続